

主の祈り（日本聖公会／ローマ・カトリック教会共通口語訳）

天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。み国が来ますように。みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。わたしたちの日ごとの糧を今日も お与えください。わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。国と力と栄光は、永遠にあなたのもです。アーメン

十戒（申命記5:6-21より）

- 1) あなたには、わたしをおいてほかに神があつてはならない。
- 2) あなたはいかなる像も造つてはならない。それらに向かつてひれ伏したり、それらに仕えたりしてはならない。
- 3) あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。
- 4) 安息日を守りなさい。
- 5) あなたの父母を敬え。
- 6) 殺してはならない。
- 7) 姦淫してはならない。
- 8) 盗んではならない。
- 9) 隣人に関して偽証してはならない。
- 10) 隣人のものを一切欲しがってはならない。

使徒信条（口語訳）

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。わたしはそのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちからよみがえり、天にのぼられました。そして、全能の父である神の右に座しておられます。そこからこられて、生きている者と死んでいる者をさばかれます。わたしは聖霊を信じます。きよい公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、永遠のいのちを信じます。アーメン

<集会案内> 1 ページの **<今週の集まり>** で詳細を確認して下さい。

礼拝	日曜日	第一礼拝 9:30-10:30am (日本語)
		第二礼拝 11-12:30 (日本語/英語)
	子供の教会	11-12:30 幼児-小学生
PAWS (礼拝と讃美の集い)	金曜日	20:00-21:00

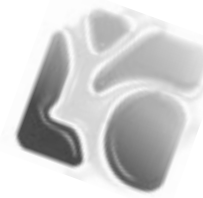
ミニチャーチ 楽しく、暖かで、私たちが一番大切にしているアトホームな集まりです。あなたもぜひ参加して下さい。詳しくはリーダーにお尋ね下さい。

ニューライフクラス 初めての聖書、信仰、教会生活についての学び (全三回)
カヴェナントクラス ユアチャーチのメンバーになりたい方のための学び (全二回)

<献金について>

私たちは聖書が収入の十分の一を献げること、礼拝の一部であり信じる者の責任であると教えていると考えています。(マラキ3:10) しかしまた、「人に強いられてではなく喜んで、自ら決めたとおりに豊かに献げる人を神は愛する」(第2コリント9:6-7) とあります。そこで私たちは、メンバーでない方や何らかの理由で献げられない方が気兼ねしないですむように、また献げる者も自発的であってほしいという願いから、礼拝中に献金を募ることはしていません。ご用意のある方は入口の献金ボックスにお入れください。

〒194-0022 町田市森野1-10-10 牧師: 永原アンディ創・池田真理
Phone 090-9381-4917 (永原) e-mail: contact@yourchurch.jp



<http://yourchurch.jp>

ユアチャーチ週報
2016/7/10 Vol.23 No.28

ユアチャーチ 2016年の聖書の言葉

一生の間、あなたの行く手に立ちはだかる者はないであろう。わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。強く、雄々しくあれ。あなたは、わたしが先祖たちに与えると誓った土地を、この民に継がせる者である。ただ、強く、大いに雄々しくあつて、わたしの僕モーセが命じた律法をすべて忠実に守り、右にも左にもそれではならない。そうすれば、あなたはどこに行っても成功する。この律法の書をあなたの口から離すことなく、昼も夜も口ずさみ、そこに書かれていることをすべて忠実に守りなさい。そうすれば、あなたは、その行く先々で栄え、成功する。(ヨシヤ記1:5-9)

しかし、神の人よ、あなたはこれらのことを避けなさい。正義、信心、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。信仰の戦いを立派に戦い抜き、永遠の命を手に入れなさい。命を得るために、あなたは神から召され、多くの証人の前で立派に信仰を表明したのです。(テモテへの手紙 I 6:11,12)

神の御前で、そして、生きている者と死んだ者を裁くために来られるキリスト・イエスの御前で、その出現とその御国とを思いつつ、厳かに命じます。御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。とがめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです。(テモテへの手紙 II 4:1,2)

<今週の集まり>

7/10 礼拝 I	9:30-10:30 (日本語)
礼拝 II	11:00-12:30 (日本語・英語 / 子供の礼拝)
サンデー PAWS (礼拝と讃美の集い)	13:30-14:30

7/15 PAWS (礼拝と讃美の集い) 20:00-21:00 6/12

<次週の集まり>

7/17 礼拝 I	9:30-10:30 (日本語)
聖餐式	10:30-
礼拝 II	11:00-12:30 (日本語・英語 / 子供の礼拝)

7/22 PAWS (礼拝と讃美の集い) 20:00-21:00 6/12

<次回の聖餐式> **7/17** 10:30

<バーベキューピクニック・洗礼式> **7/18** 申し込み書にサインアップしてください。

The King of Peace (Luke 19:28-44)

Mari Ikeda

A. The king of peace who was prophesied about (28-35, Zechariah 9:9-10)

B. The reality which is far from peace

1) "Peace in Heaven" (36-38)

2) People who hated Jesus (39-40)

3) The tragedy of Jerusalem (41-44)

C. The peace that Jesus brought

Summary

While this episode of Jesus riding a colt to enter Jerusalem is recorded in all the four Gospels, Luke's Gospel describes it with its emphasis on "peace" and Jesus. To deny Jesus means to deny peace. Jesus is the only one who can bring peace between God and us. Peace starts to take root in us only when we welcome Jesus into our heart.

For Discussion

- 1) What is the peace brought by Jesus?
- 2) This passage is said to be closely linked with Psalm 118. Read it, and share how you thought.

28 After Jesus had said this, he went on ahead, going up to Jerusalem. 29 As he approached Bethphage and Bethany at the hill called the Mount of Olives, he sent two of his disciples, saying to them, 30 "Go to the village ahead of you, and as you enter it, you will find a colt tied there, which no one has ever ridden. Untie it and bring it here. 31 If anyone asks you, 'Why are you untying it?' say, 'The Lord needs it.'" 32 Those who were sent ahead went and found it just as he had told them. 33 As they were untying the colt, its owners asked them, "Why are you untying the colt?" 34 They replied, "The Lord needs it." 35 They brought it to Jesus, threw their cloaks on the colt and put Jesus on it.

36 As he went along, people spread their cloaks on the road. 37 When he came near the place where the road goes down the Mount of Olives, the whole crowd of disciples began joyfully to praise God in loud voices for all the miracles they had seen: 38 "Blessed is the king who comes in the name of the Lord!" "Peace in heaven and glory in the highest!"

39 Some of the Pharisees in the crowd said to Jesus, "Teacher, rebuke your disciples!" 40 "I tell you," he replied, "if they keep quiet, the stones will cry out."

41 As he approached Jerusalem and saw the city, he wept over it 42 and said, "If you, even you, had only known on this day what would bring you peace—but now it is hidden from your eyes. 43 The days will come upon you when your enemies will build an embankment against you and encircle you and hem you in on every side. 44 They will dash you to the ground, you and the children within your walls. They will not leave one stone on another, because you did not recognize the time of God's coming to you."

Rejoice greatly, Daughter Zion! Shout, Daughter Jerusalem! See, your king comes to you, righteous and victorious, lowly and riding on a donkey, on a colt, the foal of a donkey. I will take away the chariots from Ephraim and the warhorses from Jerusalem, and the battle bow will be broken. He will proclaim peace to the nations. His rule will extend from sea to sea and from the River[b] to the ends of the earth. (Zechariah 9:9-10)

平和の王 (ルカ 19:28-44)

池田真理

A. 預言されていた平和の王 (28-35, ゼカリヤ 9:9-10)

B. 平和とは言えない現実

1) 「天には平和」 (36-38)

2) イエス様を憎む人々 (39-40)

3) エルサレムの悲劇 (41-44)

C. イエス様のもたらした平和

メッセージのポイント

イエス様がロバの子に乗ってエルサレムに入ったということは、四つの福音書全てに記録されていますが、ルカによる福音書では特にイエス様と「平和」を結びつける形で描いています。イエス様を拒むなら、平和を拒むこととなります。イエス様だけが、私たちと神様の間に平和をもたらして下さる方です。イエス様を心に迎えることが全ての平和の始まりです。

話し合いのために

- 1) イエス様のもたらした平和とは何ですか？
- 2) この箇所は詩編118篇とも関係が深いと言われています。
読んでみて、感じたことを話してみましょう

28 イエスはこのように話してから、先に立って進み、エルサレムに上って行かれた。
29 そして、「オリーブ畑」と呼ばれる山のふもとにあるベトファゲとベタニアに近づいたとき、二人の弟子を使いに出そうとして、30 言われた。「向こうの村へ行きなさい。そこに入ると、まだだれも乗ったことのない子ろばのつないであるのが見つかる。それをほどいて、引いて来なさい。31 もし、だれかが、『なぜほどくのか』と尋ねたら、『主がお入り用なのです』と言いなさい。」32 使いに出された者たちが出かけて行くと、言われたとおりであった。33 ろばの子をほどいていると、その持ち主たちが、「なぜ、子ろばをほどくのか」と言った。34 二人は、「主がお入り用なのです」と言った。35 そして、子ろばをイエスのところに引いて来て、その上に自分の服をかけ、イエスをお乗せした。
36 イエスが進んで行かれると、人々は自分の服を道に敷いた。37 イエスがオリーブ山の下り坂にさしかかれたとき、弟子の群れはこぞって、自分の見たあらゆる奇跡のことで喜び、声高らかに神を賛美し始めた。38 「主の名によって来られる方、王に、祝福があるように。天には平和、いと高きところには栄光。」
39 すると、ファリサイ派のある人々が、群衆の中からイエスに向かって、「先生、お弟子たちを叱ってください」と言った。40 イエスはお答えになった。「言っておくが、もしこの人たちが黙れば、石が叫びだす。」
41 エルサレムに近づき、都が見えたとき、イエスはその都のために泣いて、42 言われた。「もしこの日に、お前も平和への道をわきまえていたら……。しかし今は、それがお前には見えない。43 やがて時が来て、敵が周りに堡壘を築き、お前を取り巻いて四方から攻め寄せ、44 お前とそこにいるお前の子らを地にたたきつけ、お前の中の石を残らず崩してしまうだろう。それは、神の訪れてくださる時をわきまえなかったからである。」

ゼカリヤ9:9-10 娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者 高ぶることなく、ろばに乗って来る 雌ろばの子であるろばに乗って。わたしはエフライムから戦車を エルサレムから軍馬を絶つ。戦いの弓は絶たれ 諸国の民に平和が告げられる。彼の支配は海から海へ 大河から地の果てにまで及ぶ。